

# 障害福祉サービス提供事業所等調査

## 和歌山県全域集計結果(訪問系)

### 2. 居宅介護

県全圏域集計

訪問系

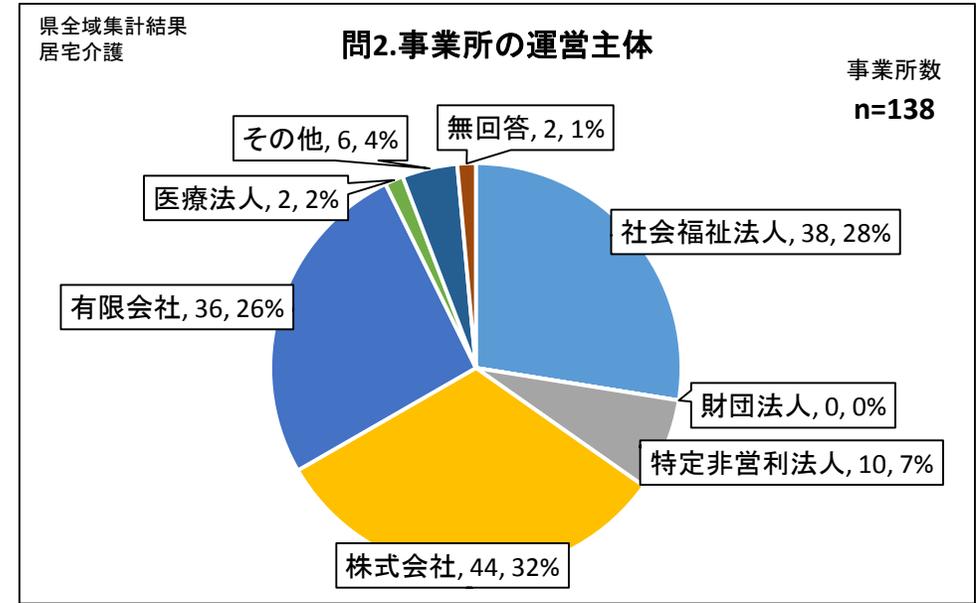
配布数	(有効)回答数	(有効)回答率
315	138	43.8%

2. 居宅介護

問2	運営主体	「株式会社」32%、「社会福祉法人」28%、「有限会社」26%、「特定非営利法人」7%、「医療法人」は1%。
問3	所在地	「和歌山」32%、「西牟婁」13%、「那賀」11%、「有田」・「日高」が各10%、「東牟婁・伊都」9%、「海草」5%の順。
問4	契約者数	18歳未満:「0人」が83.3%と大半。「1人」が8%、「2人」2.9%、「3人」が1.4%、「11人以上」は0.7%。 18歳以上:「0人」が11.6%、「2人」が10.1%。「1人」が9.4%。「11人以上」は28.3
問5	職員体制	「6～10人」と「26人以上」が各25%、「11～15人」と「16～20人」が約17%、「1～5人」が7%、「21～25人」が6%の順。
問6	医療的ケアが必要な障害児者へのサービス提供の可否	「不可能」は86%、「可能」は12%。無回答が3%。
問7	サービス提供時間帯	「日中」100%、「早朝」・「夜間」が各40%、「深夜」も20%ある。
問8	提供しているサービス内容	「排泄介助」は100%、「入浴介助」93.8%、「食事介助」は87.5%、「生活援助」81.3%、「見守り」75%、「移動支援」62.5%、「通院援助・通院時同行介助・同行援助」は60%前後 「行動援護」は12.5%となっている。
問9	提供可能な医療的ケア	「口腔・鼻腔吸引」90.9%、「気管内吸引」72.7%、「経管栄養(経鼻・胃瘻・腸瘻)」は40～50%。
問10	医療的ケアを受けている年齢層	「18～39歳」45.1%、「40～64歳」43.1%、「7～17歳」9.8%、「1～6歳」2%、「0歳」はなし。
問11	障害者手帳と等級	18歳未満:身障手帳は「1級」が大半、「2級」はなし、「不明」12.5%。療育手帳・精神保健福祉手帳はほとんど交付なし。 18歳以上:身障手帳は「1級」が41.5%、「2級」が7.7%、「不明」は24.6%。療育手帳は「A1」が3.1%。精神保健福祉手帳は「2級・3級」各6～8%程度
問12	医療的ケアが必要な方の障害支援区分	「区分6」が46.4%と一番多い。次いで「区分3」が16.1%、「区分4」が10.7%、「区分2・5」77.1%、「不明・未判定」が5.4%。
問13	提供している医療的ケア内容	18歳未満:「口鼻腔吸引・気管内吸引」が各33.3%。「経管栄養(経鼻・胃瘻・腸瘻)」は各11.1%。 「口鼻腔吸引」43.8%、「気管内吸引」25%。経管栄養は「胃瘻」12.5%、「経鼻・腸瘻」は各6.3%。
問14	医療的ケアが必要な方の利用についての課題	「2.人員不足で医療的ケア研修に出せない」が71.4%と多く、次いで「3」「5」「6」が21.4%、「4」と「7」が14.3%
問15	医療的ケアが必要な方が利用できない理由	「4.担当看護師確保ができない」が57.5%、「1.身体介護の経験がない」が43.4%、「6.利用対象としていない」が36.3%、「5.看護経験が無い」28.3%、その他は5～18%程度回答あり。
問16-1	災害対策マニュアルの定期的な見直し	「行っている」が55%、「行っていない」が28%、「これから作成する」が7%、「マニュアルがない」が5%の順。
問16-2	被災時用の備蓄を説明している物	「行っていない」が40%の回答、「食料」が42.7%、「薬」が36.4%「衛生材料」が35.5%と多く、「非常用発電機」が11.8%、「酸素」8.2%、「人工呼吸器バッテリー」4.5%の回答。
問17-1	喀痰吸引等三号研修	「受けている」が12%、「受けていない」が82%と大半。
問17-2	喀痰吸引等三号研修受けていない理由	「該当利用者がいない」が69%と大半。「人員不足」が37.2%、「演習・研修の受け入れ先がない」が15.9%の回答。
問18	医療的ケアが必要な障害児者が安心して生活する為の改善点	「2.医療的ケア研修の緩和」が62%と多い、ほか「1.3.4.」の回答が約40～50%前後。
	傾向と評価	運営主体は株式会社が一番多い。医療的ケアの提供は「不可能」が85.5%と大半。「人員不足で医療的ケアの研修に出せない」との回答が71.4%、医療的ケアが必要な方が利用できない理由は、「看護師確保ができない」が57.5%、「経験がない」が43.4%。また、3号研修については、「受けていない」が81.9%と多く、その理由は「該当者がいない」が70%と大半で「人員不足」が37.2%。問18では「医療的ケア研修の緩和」との回答が61.7%あった。居宅介護事業所は、医療的ケアの提供が難しい状態である。

問2. 事業所の運営主体

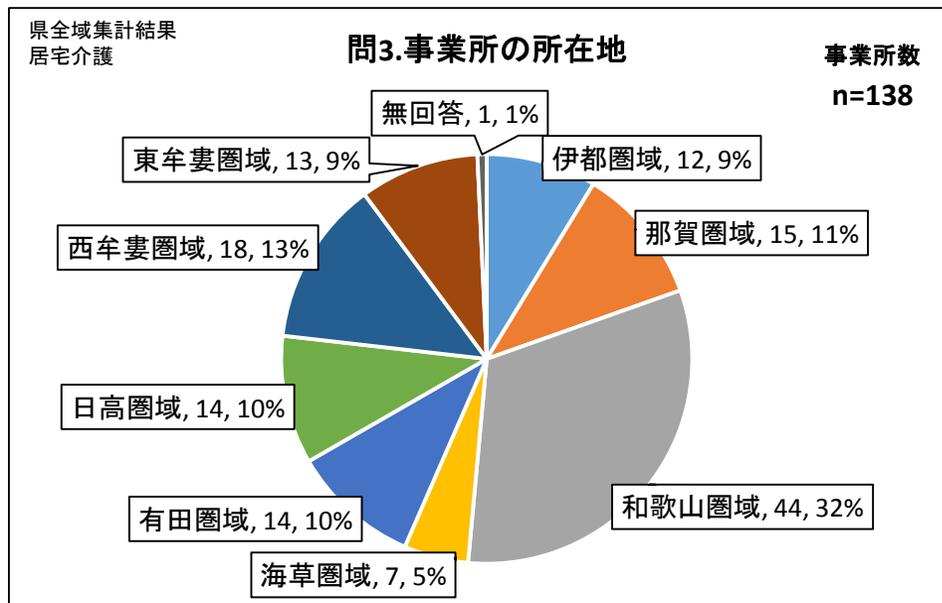
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
社会福祉法人	5	5	6	1	3	7	8	3	38	27.5%
財団法人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
特定非営利法人	2	1	4	0	0	0	1	2	10	7.2%
株式会社	3	7	12	1	8	6	5	2	44	31.9%
有限会社	2	1	17	3	3	1	4	5	36	26.1%
医療法人	0	0	1	0	0	1	0	0	2	1.4%
その他	0	1	3	2	0	0	0	0	6	4.3%
無回答	0	0	1	0	0	0	0	1	2	1.4%
事業所数合計	12	15	44	7	14	15	18	13	138	100.0%



問2	運営主体	「株式会社」32%、「社会福祉法人」28%、「有限会社」26%、「特定非営利法人」7%、「医療法人」は1%。
----	------	--

問3. 事業所の所在地

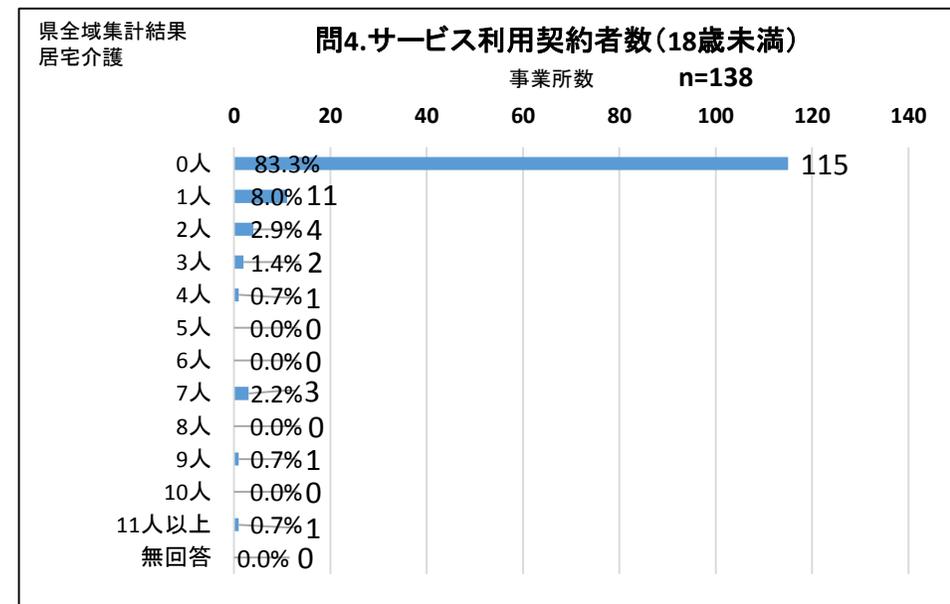
所在地	事業所数	%
伊都圏域	12	8.7%
那賀圏域	15	10.9%
和歌山圏域	44	31.9%
海草圏域	7	5.1%
有田圏域	14	10.1%
日高圏域	14	10.1%
西牟婁圏域	18	13.0%
東牟婁圏域	13	9.4%
無回答	1	0.7%
事業所数合計	138	100.0%



問3	所在地	「和歌山」32%、「西牟婁」13%、「那賀」11%、「有田」・「日高」が各10%、「東牟婁・伊都」9%、「海草」5%の順。
----	-----	---

問4. サービスを利用している契約者数(18歳未満)

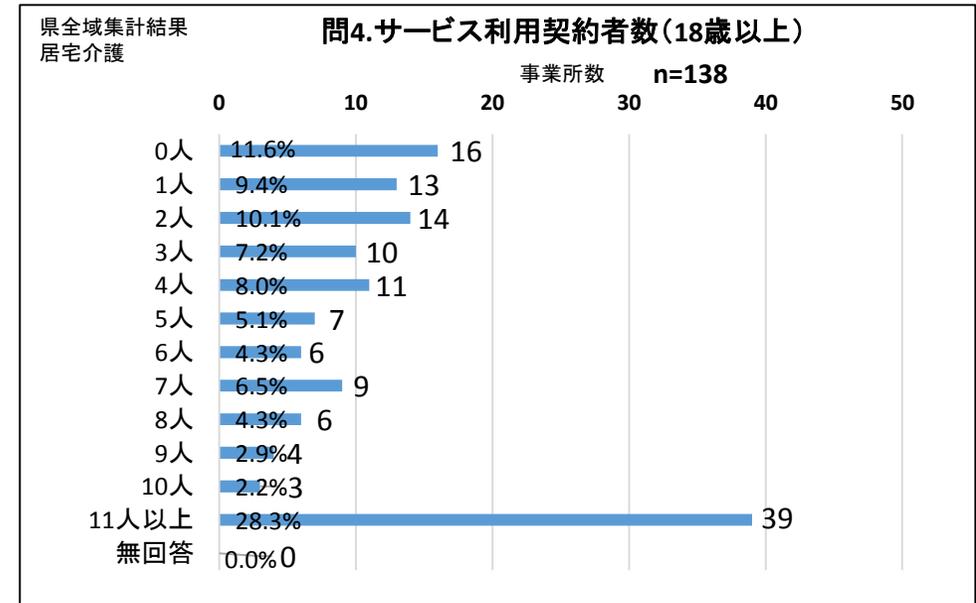
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
0人	10	10	33	7	13	14	16	12	115	83.3%
1人	0	3	5	0	0	1	1	1	11	8.0%
2人	1	2	1	0	0	0	0	0	4	2.9%
3人	1	0	0	0	1	0	0	0	2	1.4%
4人	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.7%
5人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
6人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
7人	0	0	2	0	0	0	1	0	3	2.2%
8人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
9人	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.7%
10人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
11人以上	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.7%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	12	15	44	7	14	15	18	13	138	100.0%



問4	契約者数	18歳未満:「0人」が83.3%と大半。「1人」が8%、「2人」2.9%、「3人」が1.4%、「11人以上」は0.7%。
----	------	--

問4. サービスを利用している契約者数(18歳以上)

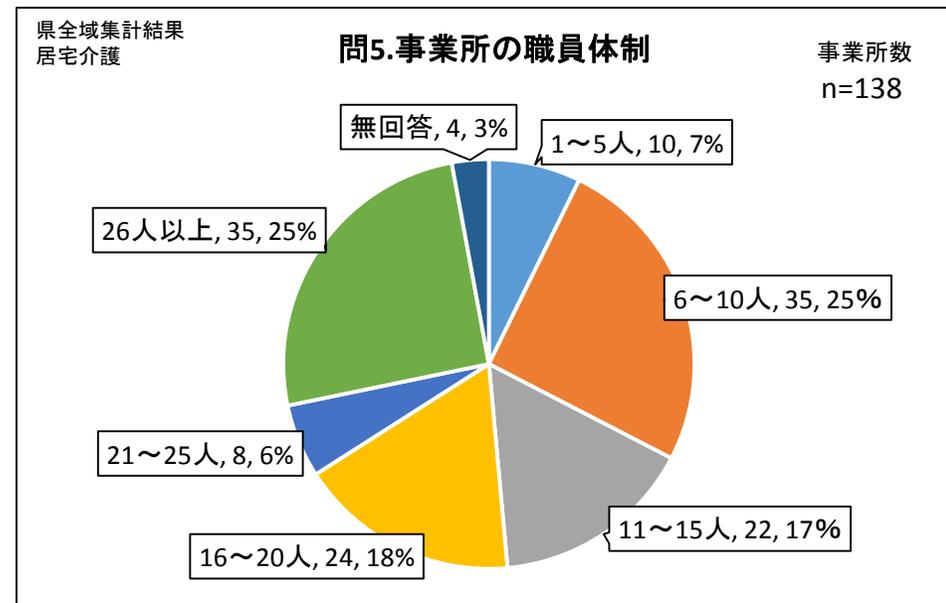
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
0人	2	1	8	1	0	1	2	1	16	11.6%
1人	2	1	3	1	2	2	1	1	13	9.4%
2人	0	3	5	0	1	3	1	1	14	10.1%
3人	2	0	4	0	1	2	0	1	10	7.2%
4人	1	1	3	0	3	0	1	2	11	8.0%
5人	1	1	2	1	0	0	2	0	7	5.1%
6人	0	3	1	0	0	1	1	0	6	4.3%
7人	0	0	1	2	1	1	3	1	9	6.5%
8人	0	1	3	0	0	0	1	1	6	4.3%
9人	1	0	1	0	0	0	1	1	4	2.9%
10人	1	0	0	0	2	0	0	0	3	2.2%
11人以上	2	4	13	2	4	5	5	4	39	28.3%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	12	15	44	7	14	15	18	13	138	100.0%



問4	契約者数	18歳以上:「0人」が11.6%、「2人」が10.1%。「1人」が9.4%。「11人以上」は28.3%。
----	------	--

問5. 事業所の職員体制

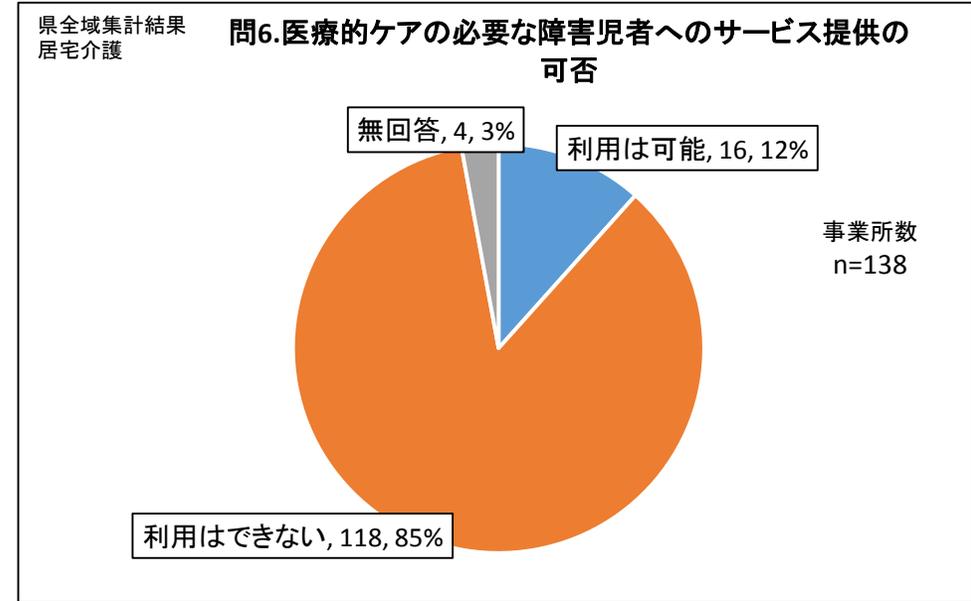
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1～5人	0	2	3	1	1	3	0	0	10	7.2%
6～10人	7	2	11	2	4	3	4	2	35	25.4%
11～15人	2	4	4	1	3	2	0	6	22	15.9%
16～20人	2	1	5	1	3	1	9	2	24	17.4%
21～25人	0	0	4	2	0	1	1	0	8	5.8%
26人以上	1	4	16	0	3	4	4	3	35	25.4%
無回答	0	2	1	0	0	1	0	0	4	2.9%
事業所数合計	12	15	44	7	14	15	18	13	138	100.0%



問5	職員体制	「6～10人」と「26人以上」が約25%、「11～15人」と「16～20人」が約17%、「1～5人」が7%、「21～25人」が6%の順。
----	------	--

問6. 医療的ケアが必要な障害児者の方々へのサービス提供の可否

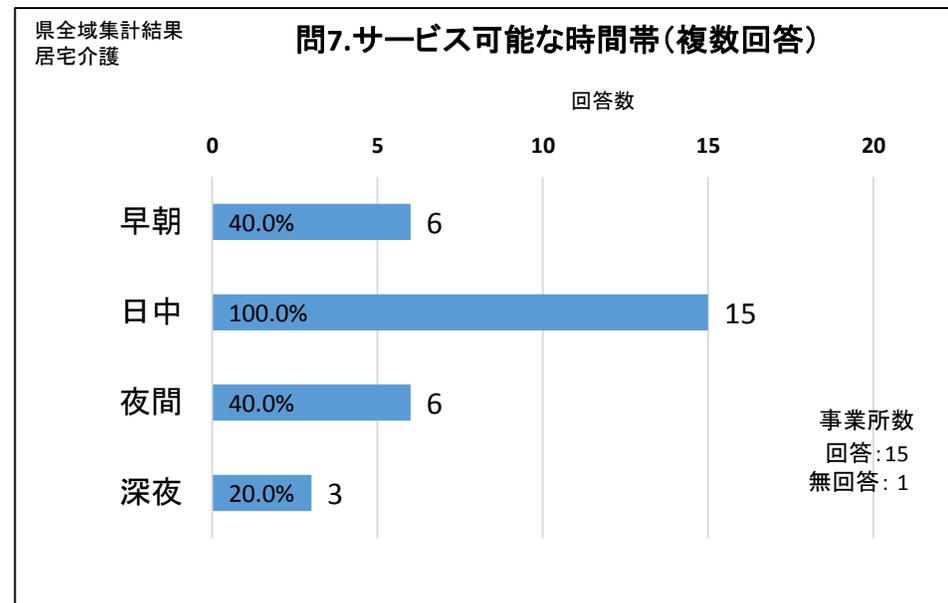
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
利用は可能	2	1	7	2	0	1	3	0	16	11.6%
利用はできない	10	10	37	5	14	14	15	13	118	85.5%
無回答	0	4	0	0	0	0	0	0	4	2.9%
事業所数合計	12	15	44	7	14	15	18	13	138	100.0%



問6	医療的ケアが必要な障害児者へのサービス提供の可否	「不可能」は85%、「可能」は12%。無回答が3%。
----	--------------------------	----------------------------

問7. サービス提供可能な時間帯(複数回答)

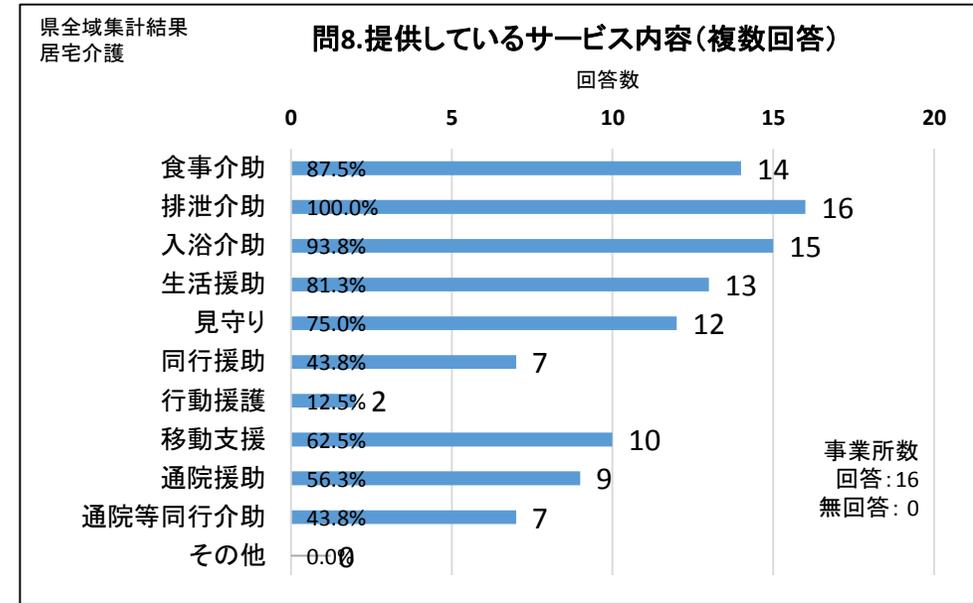
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
早朝	1	0	2	1	0	1	1	0	6	40.0%
日中	2	1	6	2	0	1	3	0	15	100.0%
夜間	1	0	2	1	0	1	1	0	6	40.0%
深夜	0	0	2	0	0	0	1	0	3	20.0%
回答事業所数	2	1	6	2	0	1	3	0	15	
無回答事業所数	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
事業所数合計	2	1	7	2	0	1	3	0	16	



問7	サービス提供時間帯	「日中」100%、「早朝」・「夜間」各40%、「深夜」20%。
----	-----------	---------------------------------

問8. 提供しているサービス内容(複数回答)

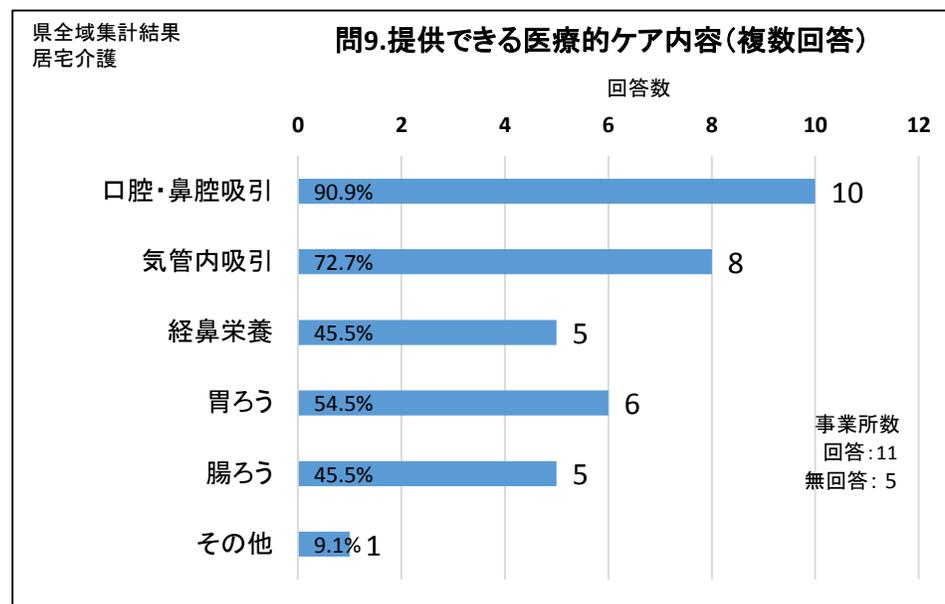
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
食事介助	2	1	7	2	0	1	1	0	14	87.5%
排泄介助	2	1	7	2	0	1	3	0	16	100.0%
入浴介助	2	1	7	1	0	1	3	0	15	93.8%
生活援助	1	1	6	2	0	1	2	0	13	81.3%
見守り	2	1	5	1	0	1	2	0	12	75.0%
同行援助	1	0	4	1	0	0	1	0	7	43.8%
行動援護	0	0	2	0	0	0	0	0	2	12.5%
移動支援	2	1	4	1	0	1	1	0	10	62.5%
通院援助	2	0	5	1	0	0	1	0	9	56.3%
通院等同行介助	0	1	4	1	0	0	1	0	7	43.8%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
回答事業所数	2	1	7	2	0	1	3	0	16	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	2	1	7	2	0	1	3	0	16	



問8	提供しているサービス内容	「排泄介助」は100%、「入浴介助」93.8%、「食事介助」は87.5%、「生活援助」81.3%、「見守り」75%、「移動支援」62.5%、「通院援助・通院時同行介助・同行援助」は60%前後。「行動援護」は12.5%となっている。
----	--------------	---

問9. 提供できる医療的ケアの内容(複数回答)

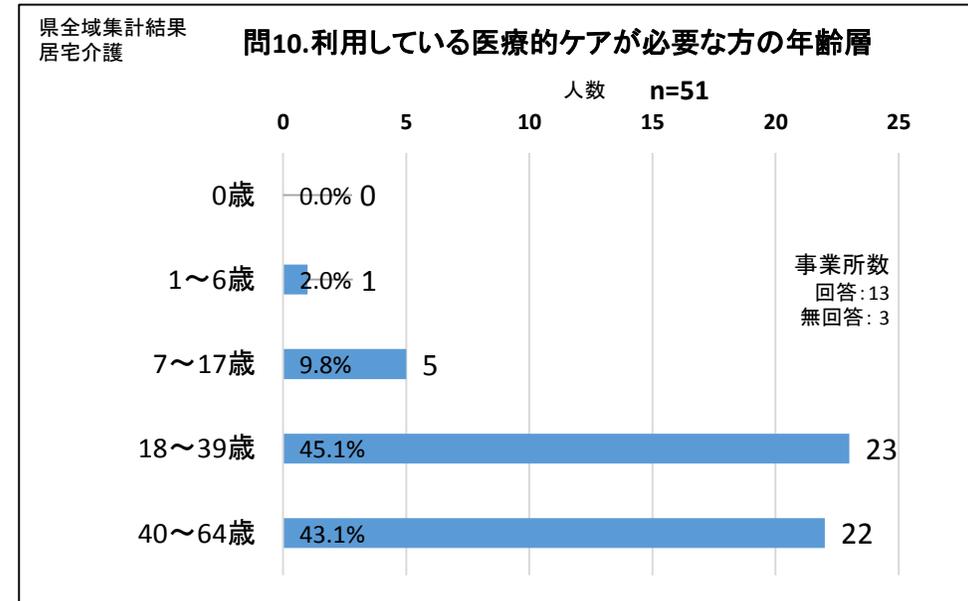
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
吸引	口腔・鼻腔吸引	1	1	6	1	0	0	1	0	10	90.9%
	気管内吸引	1	1	4	1	0	0	1	0	8	72.7%
経管 栄養	経鼻栄養	0	1	2	1	0	0	1	0	5	45.5%
	胃ろう	1	1	2	1	0	0	1	0	6	54.5%
	腸ろう	1	1	1	1	0	0	1	0	5	45.5%
	その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1	9.1%
	回答事業所数	1	1	6	1	0	0	2	0	11	100.0%
	無回答事業所数	1	0	1	1	0	1	1	0	5	
	事業所数合計	2	1	7	2	0	1	3	0	16	



問9	提供可能な医療的ケア	「口腔・鼻腔吸引」90.9%、「気管内吸引」72.7%、「経管栄養(経鼻・胃瘻・腸瘻)」は40~50%。
----	------------	--

問10. 利用している医療的ケアが必要な障害児者の年齢層別利用者数(複数回答)  
 ※(圏域事業所の合計人数)

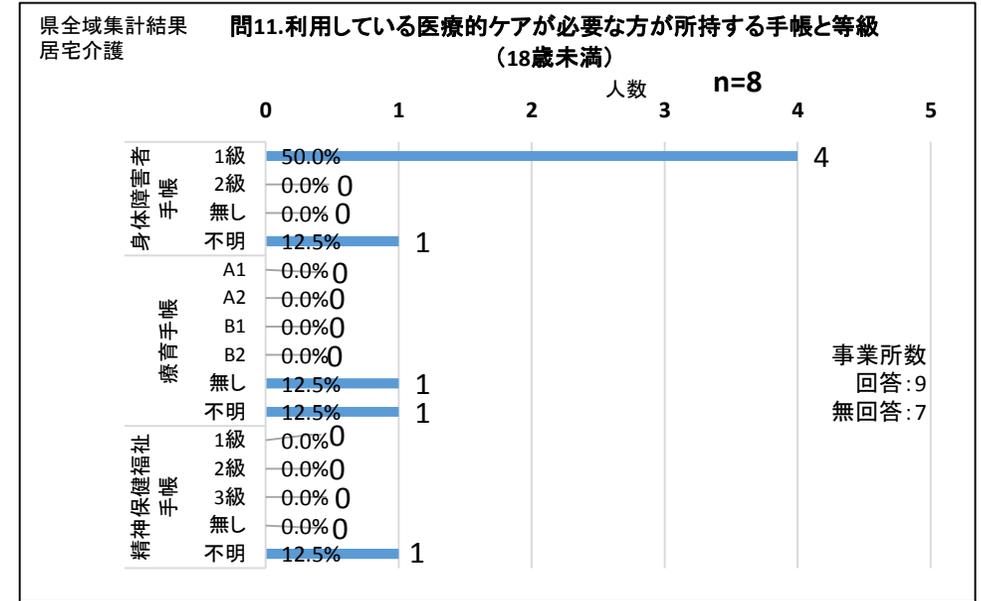
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
1～6歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2.0%
7～17歳	0	2	3	0	0	0	0	0	5	9.8%
18～39歳	4	2	11	5	0	0	1	0	23	45.1%
40～64歳	7	0	4	7	0	1	3	0	22	43.1%
合計人数	12	4	18	12	0	1	4	0	51	100.0%
回答事業所数	2	1	5	1	0	1	3	0	13	
無回答事業所数	0	0	2	1	0	0	0	0	3	
事業所数合計	2	1	7	2	0	1	3	0	16	



問10	医療的ケアを受けている年齢層	「18～39歳」45.1%、「40～64歳」43.1%、「7～17歳」9.8%、「1～6歳」2%、「0歳」はなし。
-----	----------------	---

問11. 医療的ケアが必要な障害児者の障害者手帳と等級(18歳未満)※(圏域事業所の合計人数)

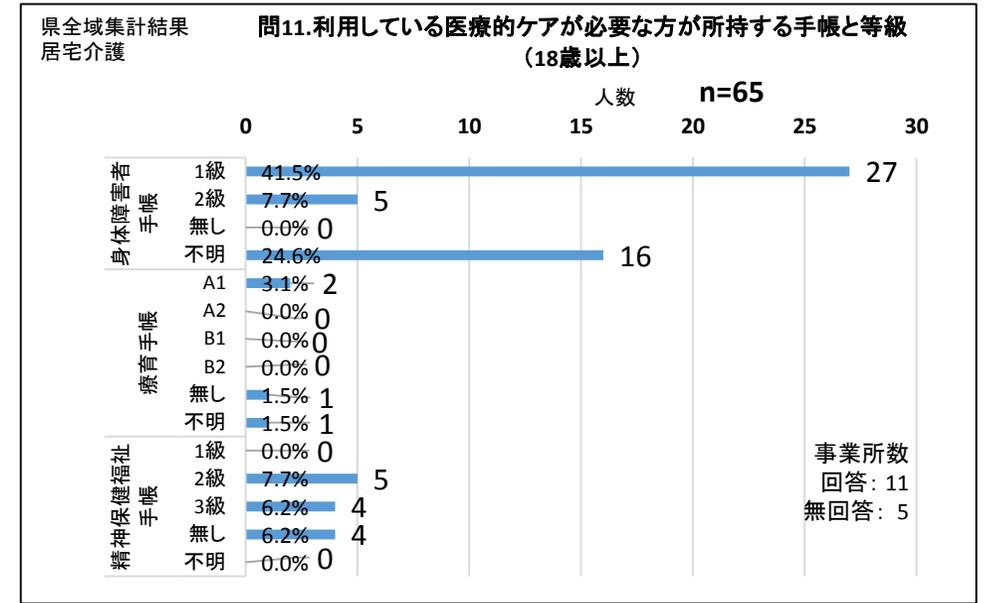
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
身体障害者 手帳	1級	0	2	2	0	0	0	0	0	4	50.0%
	2級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	無し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	不明	0	0	1	0	0	0	0	0	1	12.5%
療育手帳	A1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	A2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	B1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	B2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	無し	1	0	0	0	0	0	0	0	1	12.5%
	不明	0	0	1	0	0	0	0	0	1	12.5%
精神保健福 祉手帳	1級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	2級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	3級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	無し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	不明	0	0	1	0	0	0	0	0	1	12.5%
	合計人数	1	2	5	0	0	0	0	0	8	100.0%
回答事業所数	1	1	4	1	0	0	2	0	9		
無回答事業所数	1	0	3	1	0	1	1	0	7		
事業所数合計	2	1	7	2	0	1	3	0	16		



問11 障害者手帳と等級(18歳未満) 身障手帳は「1級」が50%、「2級」はなし、「不明」12.5%。療育手帳・精神保健福祉手帳はほとんど交付なし。

問11. 医療的ケアが必要な障害児者の障害者手帳と等級(18歳以上)※(圏域事業所の合計人数)

		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
身体障害者 手帳	1級	2	3	14	3	0	3	2	0	27	41.5%
	2級	0	0	0	5	0	0	0	0	5	7.7%
	無し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	不明	0	0	1	0	0	0	15	0	16	24.6%
療育手帳	A1	0	0	2	0	0	0	0	0	2	3.1%
	A2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	B1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	B2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	無し	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1.5%
	不明	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1.5%
精神保健福 祉手帳	1級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	2級	0	0	0	5	0	0	0	0	5	7.7%
	3級	0	0	0	4	0	0	0	0	4	6.2%
	無し	0	0	4	0	0	0	0	0	4	6.2%
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計人数		2	3	23	17	0	3	17	0	65	100.0%
回答事業所数		1	1	4	1	0	1	3	0	11	
無回答事業所数		1	0	3	1	0	0	0	0	5	
事業所数合計		2	1	7	2	0	1	3	0	16	

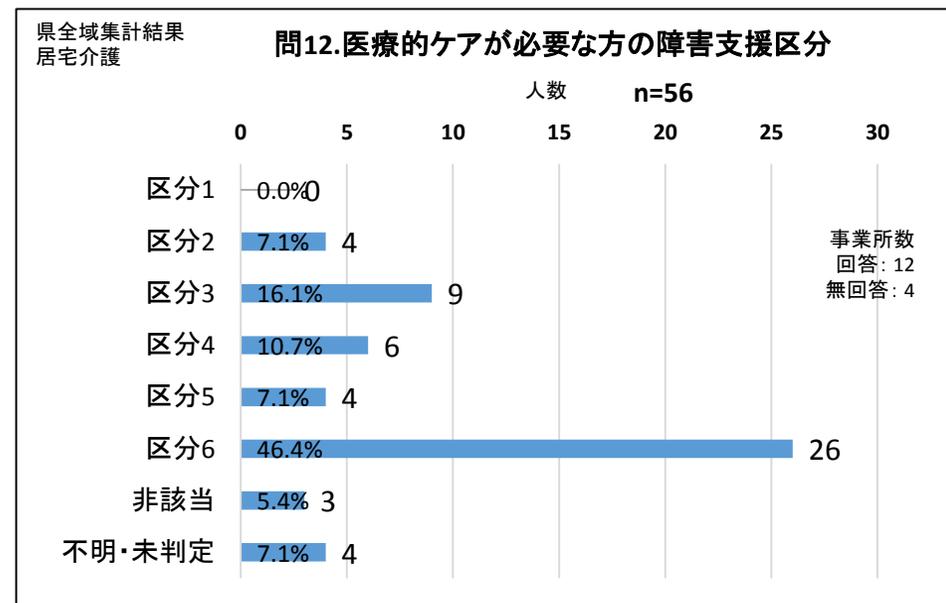


問11	障害者手帳と等級(18歳以上)	身障手帳は「1級」が41.5%、「2級」が7.7%、「不明」は24.6%。療育手帳は「A1」が3.1%、精神保健福祉手帳は「2級・3級」各6~8%程度。
-----	-----------------	--

問12. 医療的ケアが必要な障害者の障害者総合支援法による障害支援区分(程度区分)

※(圏域事業所の合計人数)

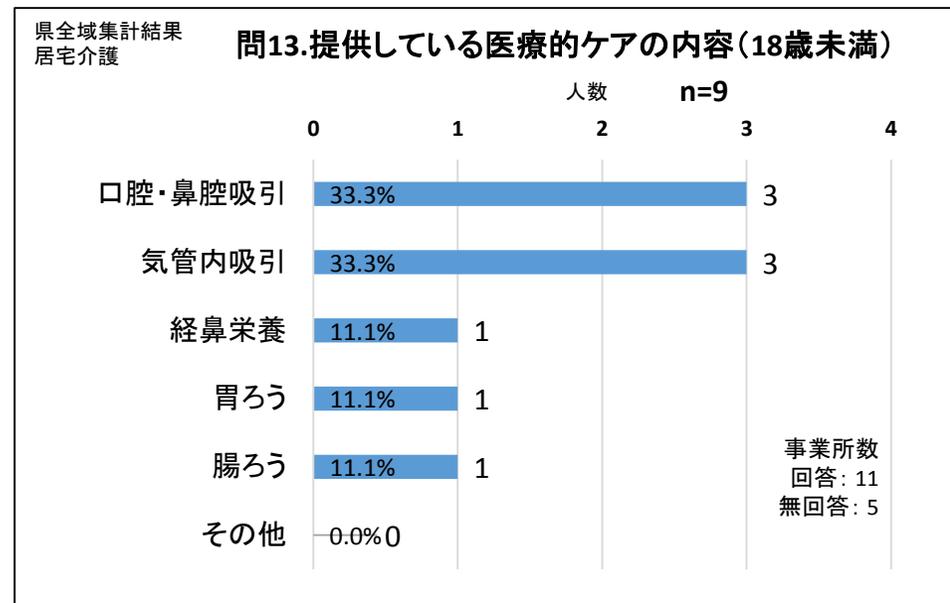
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0	0	0	4	0	4	7.1%
区分3	0	0	0	3	0	0	6	0	9	16.1%
区分4	0	0	0	4	0	0	2	0	6	10.7%
区分5	0	0	0	2	0	0	2	0	4	7.1%
区分6	2	3	15	3	0	0	3	0	26	46.4%
非該当	0	0	0	0	0	3	0	0	3	5.4%
不明・未判定	1	2	1	0	0	0	0	0	4	7.1%
合計人数	3	5	16	12	0	3	17	0	56	100.0%
回答事業所数	1	1	5	1	0	1	3	0	12	
無回答事業所数	1	0	2	1	0	0	0	0	4	
事業所数合計	2	1	7	2	0	1	3	0	16	



問12	医療的ケアが必要な方の障害支援区分(18歳以上)	「区分6」が46.4%と一番多い。次いで「区分3」が16.1%、「区分4」が10.7%、「区分2・5」7.1%、「不明・未判定」が5.4%。
-----	--------------------------	--

問13. 医療的ケアが必要な障害児者に提供しているサービスの内容と利用者の数  
(18歳未満)※(圏域事業所の合計人数)

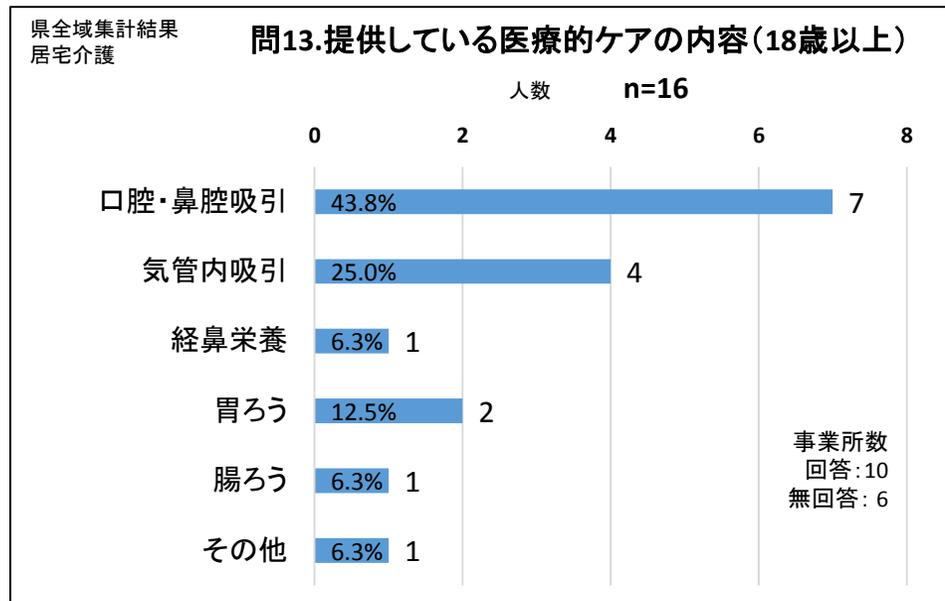
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
吸引	口腔・鼻腔吸引	0	2	1	0	0	0	0	0	3	33.3%
	気管内吸引	1	2	0	0	0	0	0	0	3	33.3%
経管栄養	経鼻栄養	0	1	0	0	0	0	0	0	1	11.1%
	胃ろう	1	0	0	0	0	0	0	0	1	11.1%
	腸ろう	0	1	0	0	0	0	0	0	1	11.1%
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	合計人数	2	6	1	0	0	0	0	0	9	100.0%
	回答事業所数	1	1	6	1	0	0	2	0	11	
	無回答事業所数	1	0	1	1	0	1	1	0	5	
	事業所数合計	2	1	7	2	0	1	3	0	16	



問13	提供している医療的ケア内容(18歳未満)	「口鼻腔吸引・気管内吸引」が各33.3%。「経管栄養(経鼻・胃瘻・腸瘻)」は各11.1%。
-----	----------------------	---

問13. 医療的ケアが必要な障害児者に提供しているサービスの内容と利用者の数  
(18歳以上)※(圏域事業所の合計人数)

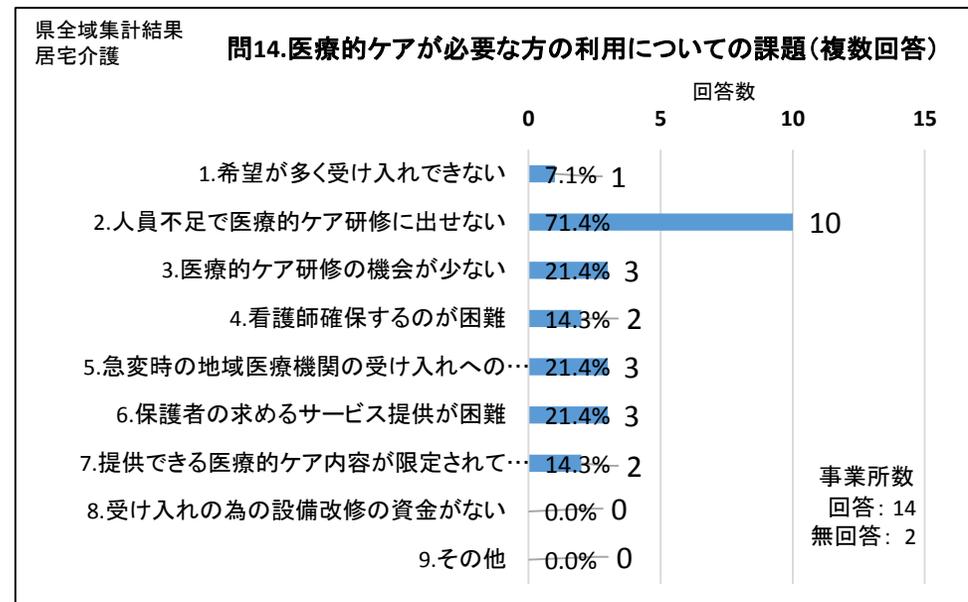
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
吸引	口腔・鼻腔吸引	1	2	4	0	0	0	0	0	7	43.8%
	気管内吸引	1	1	1	0	0	0	1	0	4	25.0%
経管栄養	経鼻栄養	0	1	0	0	0	0	0	0	1	6.3%
	胃ろう	1	1	0	0	0	0	0	0	2	12.5%
	腸ろう	1	0	0	0	0	0	0	0	1	6.3%
	その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1	6.3%
合計人数		4	5	5	0	0	0	2	0	16	100.0%
回答事業所数		1	1	5	1	0	0	2	0	10	
無回答事業所数		1	0	2	1	0	1	1	0	6	
事業所数合計		2	1	7	2	0	1	3	0	16	



問13 提供している医療的ケア内容(18歳以上) 「口鼻腔吸引」43.8%、「気管内吸引」25%。経管栄養は「胃瘻」12.5%、「経鼻・腸瘻」は各6.3%。

問14. 医療的ケアが必要な障害児者の利用について、課題となっている内容は何か(複数回答)

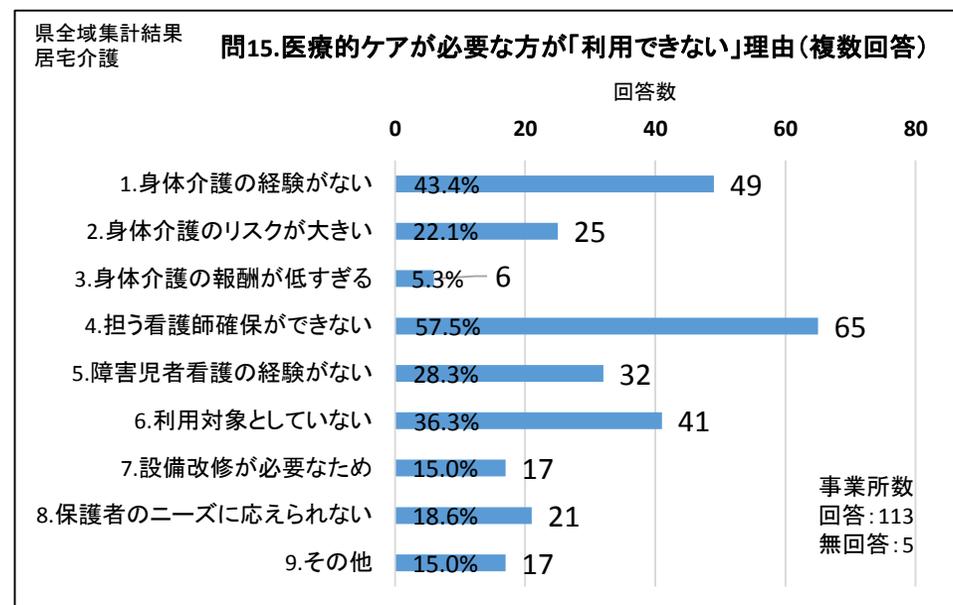
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1. 定員枠を越える希望があり受け入れできない	0	0	1	0	0	0	0	0	1	7.1%
2. 介護職員の医療的ケア研修を受けさせたいが人員不足で研修に出せない	0	1	5	1	0	1	2	0	10	71.4%
3. 介護職員の医療的ケア研修の機会が少ない(または制限がある)ため資格人員が増えない	0	0	3	0	0	0	0	0	3	21.4%
4. 現に配置している看護師に多大の負担がかかっているが、新たに看護師を確保するのが困難	0	1	0	0	0	0	1	0	2	14.3%
5. 利用者が急変した場合、受け入れてくれる地域医療機関が少なく何かあった場合のことが不安	0	1	2	0	0	0	0	0	3	21.4%
6. 保護者の求める水準どおりのサービス提供が困難	0	0	3	0	0	0	0	0	3	21.4%
7. 提供できる医療的ケア内容が限定されているため利用申し込みに対応できない場合がある	1	0	0	1	0	0	0	0	2	14.3%
8. 受け入れ範囲を拡大するためには設備改修が必要となるが、資金がない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
9. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
回答事業所数	1	1	7	2	0	1	2	0	14	
無回答事業所数	1	0	0	0	0	0	1	0	2	
事業所数合計	2	1	7	2	0	1	3	0	16	



問14	医療的ケアが必要な方の利用についての課題	「2.人員不足で医療的ケア研修に出せない」が71.4%と多く、次いで「3」「5」「6」が21.4%、「4」と「7」が14.3%
-----	----------------------	---

問15. 医療的ケアが必要な障害児者がサービスを「利用できない」理由(複数回答)

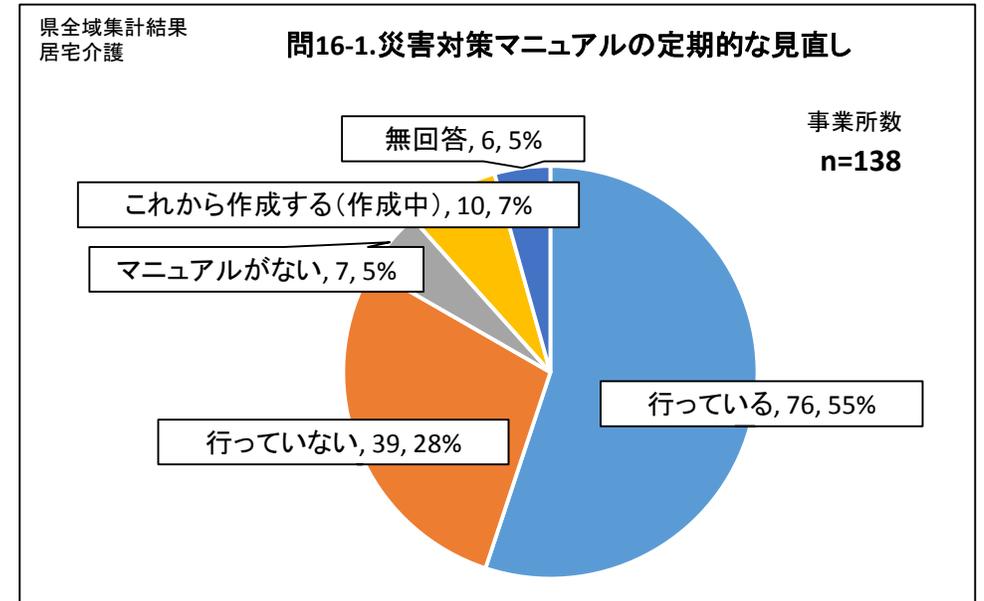
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1. 医療的ケアが必要な障害児者の身体介護の経験がないため	6	3	18	1	5	5	4	7	49	43.4%
2. 医療的ケアが必要な障害児者の身体介護は大きなリスクが伴うため	5	0	9	1	2	1	4	3	25	22.1%
3. 医療的ケアが必要な障害児者の身体介護の報酬が低すぎるため	1	0	3	0	0	0	1	1	6	5.3%
4. 医療的ケアを担う看護師の確保ができないため	7	4	19	4	8	6	9	8	65	57.5%
5. 医療的ケアが必要な障害児者の看護の経験がないため	5	1	14	1	3	3	4	1	32	28.3%
6. 事業所として医療的ケアが必要な障害児者を利用対象者としていないため	8	3	8	0	5	6	5	6	41	36.3%
7. 医療的ケアを実施するために設備改修が必要なため	4	1	7	0	0	1	2	2	17	15.0%
8. 保護者が求める看護(介護)ニーズに応えられないため	5	1	7	1	2	1	2	2	21	18.6%
9. その他	3	3	4	1	3	0	3	0	17	15.0%
回答事業所数	10	10	36	5	14	12	13	13	113	
無回答事業所数	0	0	1	0	0	2	2	0	5	
事業所数合計	10	10	37	5	14	14	15	13	118	



問15	医療的ケアが必要な方が利用できない理由	「4.担う看護師確保ができない」が57.5%、「1.身体介護の経験がない」が43.4%、「6.利用対象としていない」が36.3%、「5.看護経験が無い」28.3%、その他は5～18%程度回答あり。
-----	---------------------	--

問16-①. 事業所の「災害対策マニュアル」の定期的な見直しについて

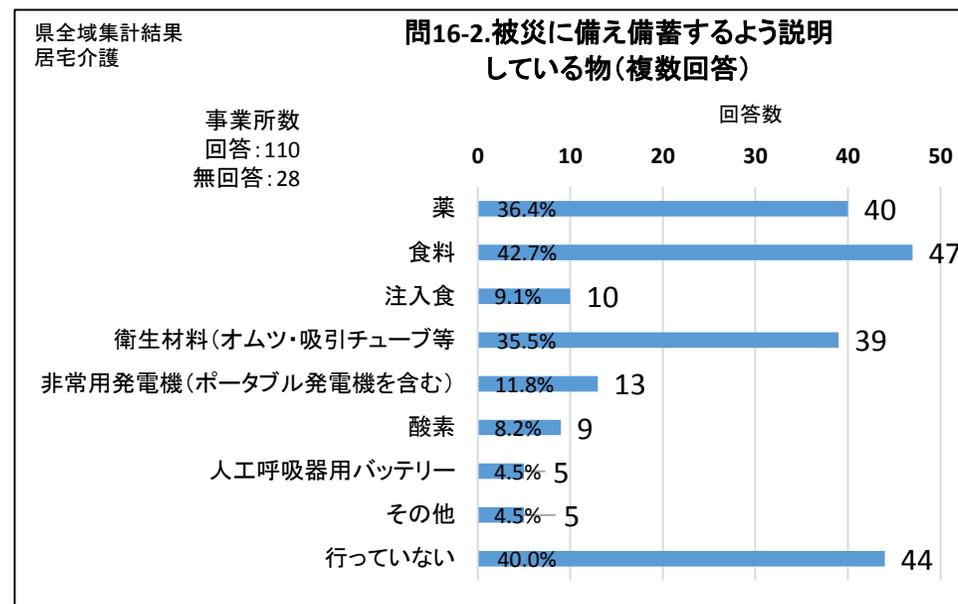
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
行っている	4	5	29	4	6	9	10	9	76	55.1%
行っていない	4	7	10	2	4	3	6	3	39	28.3%
マニュアルがない	1	1	2	1	0	2	0	0	7	5.1%
これから作成する (作成中)	2	0	1	0	4	0	2	1	10	7.2%
無回答	1	2	2	0	0	1	0	0	6	4.3%
事業所数合計	12	15	44	7	14	15	18	13	138	100.0%



問16-1	災害対策マニュアルの定期的な見直し	「行っている」55%、「行っていない」28%、「これから作成する」7%、「マニュアルがない」5%の順。
-------	-------------------	---

問16-②.貴事業が利用者の被災に備えて準備(備蓄)するよう説明している物(複数回答)

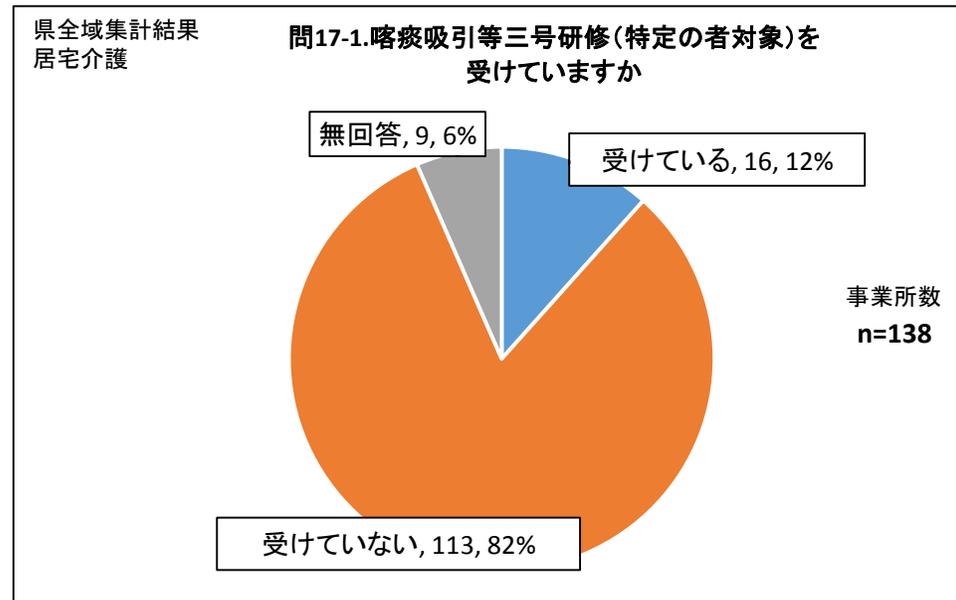
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
薬	1	2	20	2	5	3	2	5	40	36.4%
食料	0	3	22	3	4	4	6	5	47	42.7%
注入食	1	2	2	1	2	0	1	1	10	9.1%
衛生材料(オムツ・吸引 チューブ等)	3	5	14	3	5	1	4	4	39	35.5%
非常用発電機(ポータブル 発電機を含む)	1	2	5	1	0	1	1	2	13	11.8%
酸素	1	2	3	1	1	1	0	0	9	8.2%
人工呼吸器用バッテリー	1	1	1	1	1	0	0	0	5	4.5%
その他	1	1	2	0	0	0	1	0	5	4.5%
行っていない			13	3	4	9	8	7	44	40.0%
回答事業所数	4	7	38	7	12	13	16	13	110	
無回答事業所数	8	8	6	0	2	2	2	0	28	
事業所数合計	12	15	44	7	14	15	18	13	138	



問16-2	被災時用の備蓄を説明している物	「行っていない」が40%の回答、「食料」が42.7%、「薬」が36.4%「衛生材料」が35.5%と多く、「非常用発電機」が11.8%、「酸素」8.2%、「人工呼吸器バッテリー」4.5%の回答。
-------	-----------------	--

問17-①. 喀痰吸引等三号研修(特定の者対象)を受けていますか

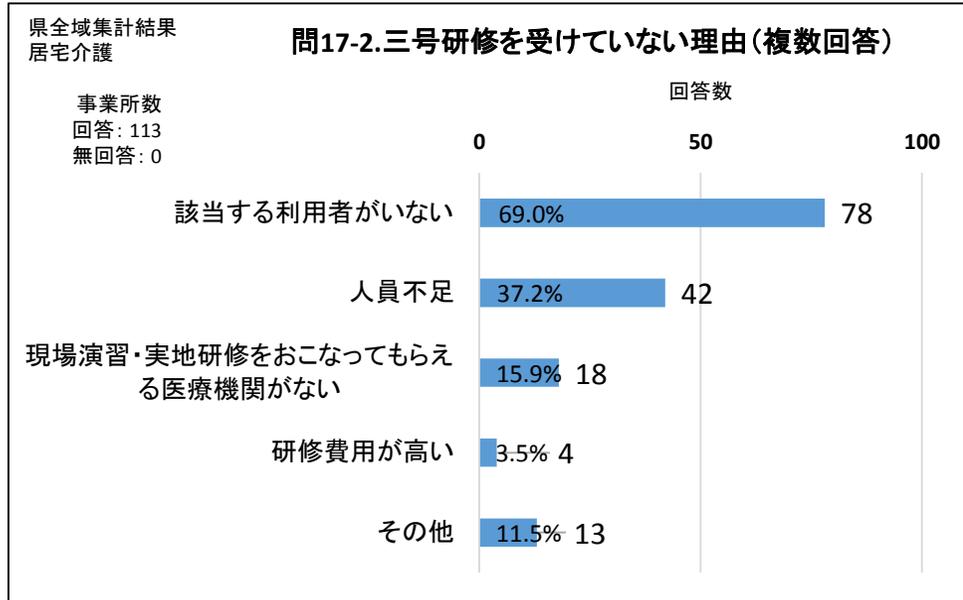
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
受けている	2	3	7	2	0	0	0	2	16	11.6%
受けていない	10	10	32	5	14	14	17	11	113	81.9%
無回答	0	2	5	0	0	1	1	0	9	6.5%
事業所数合計	12	15	44	7	14	15	18	13	138	100.0%



問17-1	喀痰吸引等三号研修	「受けていない」が82%と大半、「受けている」が12%。
-------	-----------	------------------------------

問17-②.三号研修を受けていない理由(複数回答)

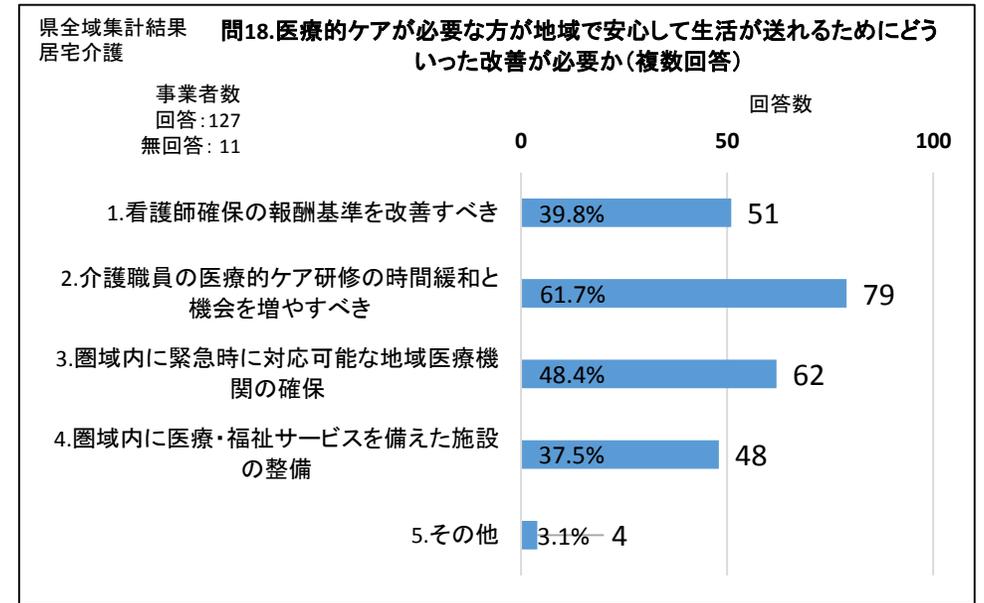
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
該当する利用者がいない	8	6	24	3	12	7	9	9	78	69.0%
人員不足	6	4	12	1	6	6	5	2	42	37.2%
現場演習・実地研修をおこなってもらえる医療機関がない	0	3	7	1	0	0	5	2	18	15.9%
研修費用が高い	0	0	2	1	0	1	0	0	4	3.5%
その他	0	3	3	1	0	3	3	0	13	11.5%
回答事業所数	10	10	32	5	14	14	17	11	113	100.0%
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	10	10	32	5	14	14	17	11	113	



問17-2	喀痰吸引等三号研修「を受けていない」理由	「該当利用者がいない」が69%と大半。「人員不足」が37.2%、「演習・研修の受け入れ先がない」が15.9%の回答。
-------	----------------------	--

問18. 医療的ケアが必要な障害児者の方々が地域で安心して生活を送れるようにするためにどういった点を改善する必要があるか(複数回答)

	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1. 医療的ケアに従事する看護師を安定的に確保できるよう報酬基準等を改善すべき	8	6	14	2	7	5	6	3	51	40.2%
2. 医療的ケアができる介護職員が増えるよう、介護職員の医療的ケア研修の研修時間の緩和、研修機会を増やすべき	5	10	26	5	10	8	8	7	79	62.2%
3. 一定の圏域内に緊急時に対応可能な地域医療機関を確保すべき	7	8	20	4	5	3	8	7	62	48.8%
4. 圏域内に医療・訪問看護・通園事業・居宅介護・短期入所・移動支援・相談支援等の機能を備えた施設の整備をすべき	7	3	14	3	8	3	6	4	48	37.8%
5. その他	1	0	0	0	0	2	1	0	4	3.1%
回答事業所数	12	13	39	7	14	14	15	13	127	
無回答事業所数	0	2	5	0	0	1	3	0	11	
事業所数合計	12	15	44	7	14	15	18	13	138	



問18	医療的ケアが必要な障害児者が安心して生活する為の改善点	「2.医療的ケア研修の緩和」が62.2%と多く、ほか「1.3.4.」の回答が約40～50%。
-----	-----------------------------	--

傾向と評価	運営主体は株式会社が一番多い。医療的ケアの提供は「不可能」が86%と大半。「人員不足で医療的ケアの研修に出せない」との回答が71%、医療的ケアが必要な方が利用できない理由は、「看護師確保ができない」が58%、「経験がない」が43%。また、3号研修については、「受けていない」が82%と多く、その理由は「該当者がいない」が70%、次いで「人員不足」が37%。問18では「医療的ケア研修の緩和」との回答が62%あった。居宅介護事業所は、医療的ケアの提供が難しい状態である。
-------	--